



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)あいの里 特定施設 新築工事	階数	地上3F
建設地	北海道札幌市北区あいの里1条6丁目1-7	構造	RC造
建物用途	病院	平均居住人員	80人
竣工年	2024年1月 予定	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
敷地面積	2,036 m ²	評価の段階	実施設計段階評価
建築面積	1,039 m ²	評価の実施日	2023年5月8日
延床面積	2,936 m ²	作成者	
		確認日	
		確認者	

※ここに外観パースを貼り付けてください。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★☆☆☆ B-

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

*SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 一次エネルギー消費量の評価

建物全体の[BEI][BEIm] **0.83**

ZEB/ZEH-Mランク **非該当**

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR のスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>近隣の環境に配慮した建物形状・配置とし、利用者の快適性に考慮した計画とした。</p>	<p>A 省エネルギー</p> <p>外部建具のガラスを複層ガラスとし、各居室については二重サッシとすることで断熱性を高め、省エネルギーに配慮した。</p>	<p>B 省資源等</p> <p>外壁仕上げ材、内装仕上げ材について耐用年数に配慮した設計とした。</p>
<p>C 緑化</p> <p>緑保全創出地域制度の許可基準を満たしている。</p>	<p>D 雪処理</p> <p>特になし</p>	

4 ほかの認証・評価制度の利用

(一財)住宅・建築 SDGs 推進センターのCASBEE認証	なし	BELS認証	なし	LEED認証	なし
上記以外の認証・評価制度の利用	-				

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■環境品質Q=25×(Qのスコア-1)、環境負荷L=25×(5-LRのスコア)より算出

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 室内騒音レベル				[騒音レベル] ≤35	3.0	0.40	5.0	0.40
1.2 遮音					2.4	0.40	2.3	0.40
1	開口部遮音性能	-		3.0	0.40	3.0	0.30	
2	界壁遮音性能	-		2.0	0.60	2.0	0.30	
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)	-			-	2.0	0.20	
4	界床遮音性能(重量衝撃源)	-			-	2.0	0.20	
1.3 吸音				-	1.0	0.20	1.0	0.20
2 温熱環境								
2.1 室温制御					2.7	0.50	3.8	0.50
1	室温	-		3.0	0.38	3.0	0.57	
2	外皮性能	省エネ	窓システム、外壁、屋根や床(特にビロティ)において、室内への熱の侵入に対して、十分な配慮がなされており、最良の日射遮蔽性能および断熱性能を有する。 (窓システムSC:0.2程度、U=3.0(W/m2K)程度、外壁その他:U=1.0(W/m2K)程度)	5.0	0.25	5.0	0.43	
3	ゾーン別制御性	-		1.0	0.38		-	
2.2 湿度制御				-	1.0	0.20	1.0	0.20
2.3 空調方式				-	1.0	0.30	1.0	0.30
3 光・視環境								
3.1 屋光利用					2.5	0.25	3.3	1.00
3.1 屋光利用					2.4	0.30	4.2	0.30
1	屋光率	1.25% ≤ [屋光率]		2.0	0.60	5.0	0.60	
2	方位別開口	-			-		-	
3	屋光利用設備	省エネ	-	3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策					2.0	0.30	3.0	0.30
1	屋光制御	省エネ	-	2.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度				-	3.0	0.15	3.0	0.15
3.4 照明制御				-	3.0	0.25	3.0	0.25
4 空気質環境								
4.1 発生源対策					4.1	0.25	4.1	1.00
1	化学汚染物質	建築基準法を満たしており、かつ建築基準法規制対象外となる建築材料(告示対象外の建材およびJIS・JAS規格のF☆☆☆☆)をほぼ全面的(床・壁・天井・天井裏の面積の合計の90%以上の面積)に採用している。さらに、ホルムアルデヒド以外のVOCについても放散量が少ない建材を全面的に採用している。		5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気					2.0	0.30	2.6	0.38
1	換気量	-		3.0	0.50	3.0	0.33	
2	自然換気性能	自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上			-	4.0	0.33	
3	取り入れ外気への配慮	-		1.0	0.50	1.0	0.33	

4.3 運用管理				5.0	0.20		-	
1	CO ₂ の監視		-		-		-	
2	喫煙の制御		ビル全体の禁煙が確認されている。または、喫煙ブースなど、非喫煙者が煙に曝されないような対策が十分に取られている。	5.0	1.00		-	
Q2 サービス性能					0.30	-	-	2.8
1 機能性				2.5	0.40	4.0	1.00	3.2
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60	
1	広さ・収納性		個室10㎡/床で、かつ多床室8㎡/床以上。		-	5.0	1.00	
2	高度情報通信設備対応		-		-		-	
3	バリアフリー計画		-	3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.5	0.40	
1	広さ感・景観		住居・宿泊部の天井高2.5m以上。		-	4.0	0.50	
2	リフレッシュスペース		-		-		-	
3	内装計画		-	1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理				3.5	0.30		-	
1	維持管理に配慮した設計		内外装に防汚性の高い仕上げ材を採用	4.0	0.50		-	
2	維持管理用機能の確保		-	3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				2.8	0.30		-	2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)		-	3.0	0.80		-	
2	免震・制震・制振性能		-	3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30		-	
1	躯体材料の耐用年数		-	3.0	0.20		-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源	30年以上	5.0	0.20		-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源	20年以上	5.0	0.10		-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源	-	3.0	0.10		-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	-	3.0	0.20		-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源	-	2.0	0.20		-	
2.4 信頼性				1.8	0.20		-	
1	空調・換気設備		-	3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		-	1.0	0.20		-	
3	電気設備		-	3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		-	1.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		-	1.0	0.20		-	
3 対応性・更新性				2.6	0.30	2.2	1.00	2.4
3.1 空間のゆとり				1.8	0.30	1.4	0.50	
1	階高のゆとり		-	1.0	0.60	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	3.0	0.40	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	3.0	0.50	

3.3 設備の更新性					3.0	0.40		-	
1	空調配管の更新性		-		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		-		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		-		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		-		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		-		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		-		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	1.7
1	生物環境の保全と創出	緑化	-		1.0	0.30		-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮	緑化	-		2.0	0.40		-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30		-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	雪処理	-		2.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化	-		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性									2.8
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	3.1
1	建物外皮の熱負荷抑制	省エネ	BPI= 0.69 品確法=	モデル建物法	5.0	0.20		-	5.0
2	自然エネルギー利用	省エネ	-		3.0	0.10		-	3.0
3	設備システムの高効率化	省エネ	BEI= 0.83	-	2.8	0.50		-	2.8
4	効率的運用				2.0	0.20		-	2.0
集合住宅以外の評価					2.0	1.00		-	
4.1	モニタリング	省エネ	-		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制	省エネ	-		1.0	0.50		-	
集合住宅の評価									
4.1	モニタリング	省エネ	-						
4.2	運用管理体制	省エネ	-						
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	2.4
1	水資源保護				2.2	0.20		-	2.2
1.1	節水		-		1.0	0.40		-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		-		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-		3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減				2.4	0.60		-	2.4
2.1	材料使用量の削減	省資源	-		2.0	0.10		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	省資源	-		3.0	0.20		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源	-		3.0	0.20		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源	-		1.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	省資源	-		2.0	0.10		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	省資源	-		3.0	0.20		-	

3	汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20		-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		-	3.0	0.30		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
	1 消火剤	省資源	-	-	-		-	
	2 発泡剤(断熱材等)	省資源	-	3.0	0.50		-	
	3 冷媒	省資源	-	3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境					0.30		-	2.9
1	地球温暖化への配慮	省資源	-	3.5	0.33		-	3.5
2	地域環境への配慮			2.3	0.33		-	2.3
	2.1 大気汚染防止	省資源	-	3.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	省資源 緑化 雪処理	-	2.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25		-	
	1 雨水排水負荷低減	省資源	-	3.0	0.25		-	
	2 汚水処理負荷抑制		-	3.0	0.25		-	
	3 交通負荷抑制		-	3.0	0.25		-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	省資源 雪処理	-	1.0	0.25		-	
3	周辺環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
	1 騒音		-	3.0	1.00		-	
	2 振動		-	-	-		-	
	3 悪臭		-	-	-		-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
	1 風害の抑制		-	3.0	0.70		-	
	2 砂塵の抑制		-		-		-	
	3 日照阻害の抑制		-	3.0	0.30		-	
	3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		-	3.0	0.70		-	
	2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		-	3.0	0.30		-	



■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2021v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2021(ver.1.0)

1 建物概要		BEE	0.7	BEEランク	B-
建物名称	(仮称)あいの里 特定施設 新築工事				
建物用途	病院				
延床面積	2,936.3 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート	
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★★	<p>省エネルギー性能 5.0 4.0 3.0 2.0 1.0 0.0</p> <p>雪処理</p> <p>省資源等への取組</p> <p>緑化への取組</p> <p>★1=スコア(最低点~最高点)20%以下 ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下 ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下 ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下 ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上</p>
	省資源等	★★★☆☆	
	緑化	★☆☆☆☆	
	雪処理	★☆☆☆☆	

3. 重点項目のCASBEEスコア							
A 省エネルギー (最高点 27.9 最低点 7.9)				合計		18.2点 /27.9点	
Q1 温熱環境	スコア	2.7 /2.7	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	4.0 /4.0		
Q1 光・視環境	スコア	3.1 /5.2	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.2 /2.0		
			LR1 設備システムの高効率化	スコア	5.6 /10.0		
			LR1 効率的運用	スコア	1.6 /4.0		
B 省資源等 (最高点 23.7 最低点 7.7)				合計		12.7点 /23.7点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア	0.7 /1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	4.3 /9.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.9 /2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.3 /1.9		
			LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.5 /5.0		
			LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0 /4.4		
C 緑化 (最高点 15.3 最低点 3.1)				合計		5.2点 /15.3点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	0.9 /4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.0 /2.5		
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	2.4 /6.0					
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.9 /2.3					
D 雪処理 (最高点 3.0 最低点 0)				合計		0.0点 /3.0点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0 /1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.0 /2.0		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■重点項目の最高点は、各評価項目でレベル5で評価された場合の点数

■重点項目の最低点は、各評価項目でレベル1で評価された場合の点数